

子どもと大人のきずなを深める ワークショップ

—CARE (Child-Adult Relationship Enhancement) プログラム—

CAREプログラムは、子どもとのよりよい関係づくりに大切な養育スキルを体験的に学ぶことができるもので、エビデンスの示された治療法や理論に基づいて開発されています。子どもと大人の肯定的であたかい関係性づくりは、愛着や発達などさまざまな課題を抱える子どもの心の回復や発達の土台となるものです。現場で実際に使える具体的なスキルと方法を学ぶことを目的にCARE-Japan 認定ファシリテーターを講師に研修を開催します。

日時 2024年10月2日 (水)
13:45~18:00

会場 ドーンセンター 大会議室3 (4F)
(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
〒540-0008 大阪市中央区大手前1丁目3番49号

講師



- ・京阪天満橋駅、Osaka Metro谷町線天満橋駅
(1番出入口から東へ約350m)
- ・JR東西線大阪城北詰駅 (2号出入口から西へ約550m)
- ・シティバス京阪車庫からすぐ

CARE-Japan認定ファシリテーター

岩本華子

神戸市看護大学看護学部准教授

大阪公立大学現代システム科学研究科客員研究員、博士 (社会福祉学)、社会福祉士・精神保健福祉士。市町村における女性に対する福祉的支援の向上をテーマに研究。これまで大学・短大で10年以上幼稚園教諭・保育士養成に携わる。教育・研究のかたわら、保護者や地域の子育て支援の実践者、母子生活支援施設等の職員向けにワークショップ・研修を行う。

CARE-Japan 認定ファシリテーター

増井香名子

日本福祉大学社会福祉学部准教授

大阪公立大学現代システム科学研究科客員研究員、博士 (社会福祉学)、社会福祉士・精神保健福祉士・公認心理師。地方公共団体の社会福祉職として女性福祉や児童福祉に関わる。DV被害者支援、子ども虐待とDVが交差するケースへの支援・介入をテーマに研究。主著に『DV被害からの離脱・回復を支援する—被害者の「語り」にみる経験プロセス—』(ミネルヴァ書房、2019年(日本ソーシャルワーク学会奨励賞受賞))

対象 福祉・心理・教育・医療・NPO等、
児童・母子・女性支援など現場で子どもや親支援に関わる専門家・支援者

定員 35名 (先着順)

参加費 8,500円 (資料付き)

申込方法 当財団ホームページ、またはQRコードよりお申し込みください。

- ※一旦お支払いいただいた参加費は返金できませんので、ご了承ください。
- ※お申込み受付後1週間以内に参加費の振込案内をメールで通知いたします。
- ご入金を確認の上、受講開始の1週間前までに決定通知書を送付します。
- ※全プログラム受講者には、参加証を発行します。

申込締切 9月25日 (水) まで

お問合せ ドーン財団 (一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団)

Eメール: iieyo@dawn-ogef.jp TEL: 06-7494-3005 URL: <https://www.dawn-ogef.jp/>



ドーン財団とは

1994年設立。男女が対等な立場であらゆる分野に参加・参画できる社会づくりをめざす非営利法人、愛称はドーン財団。財団がドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター) を拠点に活動してきたことにちなむ名称です。ドーンセンターは、1994年の開館時に、公募で選ばれた愛称です。「夜明け」や「物事の始まり」を意味する英語DAWNと、大阪の女性たちの「ドーンといこう!」という心意気を表しています。